

Japan Evangelical Theological Society

日本福音主義神学会

J·E·T·S·NEWS Vol.31

発行所 / 270-1347 千葉県印西市内野3丁目301-5-1 東京基督神学校内
学会サイト・アクセス <http://evangelical-theology.jp>

ご挨拶とご案内

全国理事長 市川 康則

主の御名を賛美いたします。会員の皆様には、常日頃、お祈りとお捧げ物とご奉仕により日本福音主義神学会（JETS）をご支援くださりまして、まことに感謝申し上げます。

本年六月より JETS の全国理事長を仰せつかりました。大変荷の重いことですが、昨年四月に西部部会の理事長に選ばれましたので、東部と西部の理事長が隔年交代で全国理事長になるとの慣例に従って、このようになりました。これまでに多くの優れた先輩方が各部会の理事長を、そして全国理事長をお務めになり、JETS を今日まで指導してくださいました。主に感謝いたしますと共に、今後も JETS が主とその教会に仕える器として豊かに用いられますよう、切に祈る次第です。主の御憐れみの下に皆様のご協力に支えられて応分の奉仕をさせていただければ、幸いに存じます。

この機会に改めて JETS の役割を考えさせられています。「神学会」として当然、学問研究に励まなければなりません。同時に、主とその御業に仕えるという意味で「生きた知識」の獲得努力でなければなりません。一般に人間学問自体が人間生活上の必要から生じ、それに仕える使命—さらに一種の宿命の如きもの—を持っています。しかし同時に、「御用学問」に墮してはならず、研究の自由を保障されなければなりません。これは神学にも当てはまります。

キリスト教会は最初期から礼拝と宣教—礼拝も神の国の宣教の一環—に励み、その中で

主イエス・キリストを告白し続けてきました。「イエス・キリスト」は、神聖の聖書啓示に対する教会の応答としての信仰告白であり、同時に、外部に向かって語る宣教使信—その核心—です。神学はその深化と発展に他なりません。神学は学問としては個々の神学者の営みですが、その起源や目的においては、キリスト教会自体の告白的、証言的営みです。JETS はこの教会伝統に堅く立ち、聖書使信をより正しく理解し、表現し直すように召されています。教会の任務である—一否、教会の存立自体である—(包括的な意味での)宣教に仕えつつ、その宣教の聖書的適切化・有効化を目指して自他伝統の批判的検証や相互検討を—そのための試行錯誤を一敢行すべきではないかと思えます。

さて、今年は第13回全国研究会議が神戸で開催されます(11月25~27日)。既に案内文書が送られていますが、主題は「現代日本における伝道の神学」で、四つの講演とそれぞれに対する応答、そして神学生によるディベート、それに開会礼拝と総括から成っています。「福音主義」と言っても多義的であり、現代日本社会も多様です。伝道を多角的に捉え、神学的に考察することを目指しています。多くの方々のご参加を期待しています。また、明日の JETS を担うべき神学生によるディベートも初めて試みます。お祈りくださり、ご期待ください。会員諸賢の上に主の豊かな御祝福を祈りつつ。(神戸改革派神学校校長)

◆ 各地区部会報告 ◆

東部部会報告

1. 理事会の構成

- ◎役員理事 理事長：内田和彦
書記：関野祐二
会計：渡辺 聡
- ◎学会誌：木内伸嘉、藤本 満
- ◎部門理事 聖書学：内田和彦、
組織神学：関野祐二、丸山悟司
歴史神学：横山 武
実践神学：藤原導夫、福井誠

2. 研究会・講演会

- ①春期研究会：2007年5月28日（月）
発題：平野克巳氏「伝統的説教への挑戦
—ニュー・ホミレティックスをめぐる—」
コーディネーター 藤原導夫氏
応答者 藤本 満氏
- ②秋期研究会：2007年12月3日（月）
研究発表1 野口 誠氏
「教会へのサタンの罠—科学、神学、
結婚、葬儀、法人をめぐる—」
- 研究発表2 中島 修平氏
「末期癌患者への臨床牧会における
スピリチュアル・ケア」
- 研究発表3 大坂 太郎氏
「ビリビ人への手紙におけるパウロと
その敵対者たち
—寛容と非寛容をめぐる—」

3. 会員異動

- 〈入会〉大坂太郎氏
〈退会〉伊藤淑美氏、久保真理氏、小林基人氏、斉藤
明夫氏、下村 茂氏、深左隆英氏、村瀬俊夫
氏

中部部会報告

1. 理事会構成

- ◎役員理事 理事長：安村仁志
書記：関 昌宏
会計：佐々木保雄
- ◎学会誌：檀原久由、東 正明
- ◎無任所：池上 泉

2. 研究会・講演会

- 公開講演会 2007年5月14日（月）
倉沢 正則氏「日本伝道のこれから：
家の教会運動の実践神学的検討」
- 秋季研究発表会 2007年11月12日（月）
松浦 剛氏「地域密着型伝道—そのあり方と課題」
山崎ランサム和彦氏「初代教会のローマ帝国観：
ルカ文書におけるケーススタディ」

中部部会会報 第7号

- 川口 一彦氏「中国唐代のキリスト教—景教」
木下 裕也氏「『真理一斑』（植村正久）に見るキリ
スト教」
渡辺 聡氏「東京におけるポストモダンの教会の
—事例」
富澤 誠治氏「自称詩人」
松浦 剛氏「弘前バンドと松江バンド」

3. 会員異動

- 〈入会〉有賀喜一氏

〈退会〉池田多久造氏、川口一彦氏、野町真理氏

西部部会報告

1. 理事会構成

- ◎役員理事 理事長：市川康則、
書記：正木牧人、
会計：鷹取裕成
- ◎学会誌：市川康則、安黒 務
- ◎理事：工藤弘雄、橋本昭夫、津村春英、福田充男、
瀧浦 滋、真鍋 孝、大田裕作、金井由嗣

2. 研究会・講演会

- 春期研究会 2007年4月23日（月）
主題：「国家とキリスト教信仰：特に改訂
「教育基本法」をめぐる」
- 秋期研究会 2007年11月26日（月）
主題：「教会と国家
—右傾化する時代における宣教と信仰」

3. 会員移動

- 〈入会〉大和昌平氏、宮谷正子氏、李光雨氏、雀榮九
氏
〈退会〉末岡成夫氏、山崎謙二氏、頼本初義氏、
〈転出〉門谷院一氏（東部部会へ）
〈召天〉南波公彦氏

学会誌報告

①学会誌委員

- 東部：木内伸嘉、藤本 満（会計）
中部：松浦 剛（書記）、壇原久由
西部：市川康則（編集長）、安黒 務

②38号発行

- 特集「日本の宣教を考える」
論文 西岡義行氏
「プロテスタントにおける教会と宣教の相互関係」
—宣教学的一考察—
有賀喜一氏
「戦略的視点からの日本宣教再考」
—福音主義学徒の提言—
福田充男氏
「ヒトデ型教会のススメ」
—現代日本教会の閉塞感を打破する試みとして—
山口陽一氏
「アジア太平洋戦争下の中国伝道」
—「怨みを毀つ涙の握手」とその時代—
安村仁志氏
「日記に見る宣教師ニコライの宣教」
—「宣教師ニコライの全日記」の出版にあわせて—

投稿論文

- 山崎ランサム和彦氏
「使徒の働き 4章23～31節における
詩篇2篇1～2節の引用」
書評 壇原久由氏 J・ベリカン著
「キリスト教の伝統—教理発展の歴史」
牧野信成氏 鍋谷堯爾著
「詩篇を味わうⅠ、Ⅱ」

巻頭言 全国理事長 内田和彦

発行 2007年12月

③39号テーマ 病氣と癒し

全国理事会報告

〔日時〕 2008年6月2日(月) 午後2:00～5:00
 〔場所〕 名古屋国鉄会館会議室7階ひかり
 〔出席〕 東部：内田和彦(理事長)、渡辺 聡
 中部：佐々木保雄
 西部：市川康則、鷹取裕成(会計)、正木牧人(書記)
 学会誌：(市川康則)

■開会の御言葉と祈禱：内田理事長
 使徒の働き 2:36～37

■報告：

1. 全国理事会(正木)配布「2007年度全国理事会議事録07/05/07」承認
 - ・今後は当日閉会前に審議事項記録を中心に確認・承認する。
 - ・書記が議事録をメール等で配布し修正等を問う。
 - ・次理事会で承認は不要。前回の議事の確認として翌年理事会の最初に議事録を読む。
2. 各部会報告 承認
 - ・西部：(正木) 07/09/27、07/11/26、07/12/28、08/04/21の理事会報告と、08/04/21の総会報告により説明
 - ・中部：(佐々木) 08/05/12総会議事録により説明
 - ・東部：(内田) 080526総会資料により説明
3. 学会誌(市川)
 - ・38号：「日本の宣教を考える」昨年未発行
 - ・39号の予定「病いと癒し」8月末原稿締切

4. 会計(鷹取)
 - ・別紙「日本福音主義神学会 全国 会計 2007年度決算報告」に基づいて報告 承認
5. JETSニュース(佐々木) 30号を発行した
6. 全国研究会議準備会報告(市川)
 - ・08/06/02 午前、準備委員会を開いた。
 - ・第2日目午後の「フリートーク」を「神学生ディベート」の時間と変更した。東部・中部の先着15名に5000円の交通費援助する。
 - ・申し込み書を本日各部会の書記に手渡した。締め切りは9月末日

■審議：

1. 新役員構成
 - ・全国理事長：市川康則、全国書記：正木牧人、全国会計：鷹取裕成
2. 学会誌
 - ・第40号 2009年発行 は2008年秋の全国研究会議の特集号とすることを要望する。
 - ・これから取り上げるべきテーマについて話し合った。
3. 全国会計予算 別紙のように予算承認
4. JETSニュース
 - ・7月末までに原稿提出のこと。巻頭言：市川新理事長。作成担当：佐々木
5. 次回全国理事会予定
 - ・2009年6月1日(月) 午後2:00～5:00 名古屋国鉄会館会議室7階ひかり 招集者：市川理事長

■閉会祈り 佐々木

日本福音主義神学会 全国研究会議

開催日：2008年11月25日(火)～27日(木)
 場所：神戸 YMCA
 ホスト：日本福音主義神学会西部部会

全体のテーマ：
 「現代日本における伝道の神学」
 講義Ⅰ 「伝えるメッセージ」
 講師：内田和彦氏
 応答：瀧浦 滋氏
 講義Ⅱ 「多元主義社会における伝道」
 講師：橋本昭夫氏
 応答：櫻井圀郎氏
 講義Ⅲ 「伝道の担い手」
 講師：倉沢正則氏
 応答：相馬伸郎氏
 講義Ⅳ 「伝道の結実—教会建設—」
 講師：河野勇一氏
 応答：工藤弘雄氏

【プログラム】

	11月25日(火)	11月26日(水)	11月27日(木)
9時		00(開始)	00(開始)
10時		講演Ⅱ 質疑応答	講演Ⅳ 質疑応答
11時		15(終了)	15(終了)
12時		30 親睦昼食会 (申込者)	30 総括・閉会礼拝
1時		00(開始)	10 解散
2時		講演Ⅲ 質疑応答	
3時	00 受付開始	15(終了)	
4時	00 開会礼拝 40 オリエンテーション	30 フリートーク (有志)	
5時	00 夕食 (各自)	00 夕食 (各自)	
6時	30(開始)	自由(近隣諸 教会の祈禱会 への出席など)	
7時	講演Ⅰ 質疑応答		
8時	45(終了)		

開会礼拝説教者 安村仁志氏
 総括・閉会礼拝 市川康則氏

日本福音主義神学会 全国 会計
2007年度決算報告 および 2008年度予算

収入の部			
項 目	2007年度予算	2007年度決算	2008年度予算
東部分担金	450,000	450,000	450,000
中部分担金	70,000	70,000	70,000
西部分担金	390,000	390,000	390,000
学会誌売上	150,000	100,990	150,000
広告収入	150,000	190,000	150,000
献金	0	0	0
雑収入	0	0	0
前年度繰越	925,125	925,125	1,090,995
合 計	2,135,125	2,126,115	2,300,995

支出の部			
項 目	2007年度予算	2007年度決算	2008年度予算
学会誌出版費	900,000	800,000	900,000
全国理事会費	150,000	104,310	150,000
事務通信費	10,000	885	10,000
ニュース発行費	30,000	29,925	30,000
研究助成費	30,000	0	50,000
全国研究会議費	100,000	100,000	100,000
名簿作成費	0	0	100,000
雑費・予備費	915,125	0	960,995
			0
次年度繰越	0	1,090,995	0
合 計	2,135,125	2,126,115	2,300,995

総 計		現 在 額	
項 目	金 額	項 目	金 額
出版基金	1,208,421	郵便振替	2,294,716
次年度繰越	1,090,995	現 金	4,700
合 計	2,299,416	合 計	2,299,416

日本福音主義神学会ニュース
 2008年9月1日発行

発 行 日本福音主義神学会
 編 集 佐々木保雄
 印 刷 (株) あるむ